

海外での教育

渡航から帰国までの、アメリカ・カナダでの日本の子どもの教育



北米の日本人の子ども、何人くらい？

外務省の海外在留邦人子女数統計（長期滞在者）2010 年 より

海外に長期滞在（永住を除く）する、日本人の義務教育年齢にある子どもの人数（2010 年 4 月 15 日現在）の調査結果が、外務省から発表されました。

全体：

北米の小中学生の数は、この 1 年間で 1400 人、約 7% 増えました。ちなみに、世界中では 9.5% の増加でした。

日本人学校・補習校に比べて、その他の人数の構成比が、小学生・中学生どちらでも、大きく増加しました。

小学生：

日本人学校と補習校通学者が微減するものの、その他（主として現地校だけに通学する児童だと思われる）が 100 人、17% 増加し、小学生全体の増加 6.4% に寄与しました。

中学生：

小学生同様、その他が 20% 以上増加して、中学生全体の 7.4% 増加させています。補習校の中学生が 8% 減少しているのが、特徴的です。

2008 年 9 月にリーマン・ショックがあり、その後世界的な経済危機で、日米の経済状況は芳しくありませんでした。北米の日系企業の撤退・縮小の話をよく聞きました。

ここで比較した 2009 年 4 月から 2010 年 4 月の期間は、まさに、その経済縮小の時期に一致します。しかし、その間の児童生徒数の増減をみると、小・中学生合わせて約 7% の増加となっています。世界中でみても、多分中国・アジアの早い回復が寄与して、約 10% と大きな増加を示しています。

実は、同じ時期に北米各地の補習授業校を訪問した折に聞く話は、「在籍数に大きな変化はない」「少し減り気味」という、マスコミで流れる急減の報道とは、ニュアンスの異なるものでした。この統計の数字を見て、納得がいききました。もちろん、大きな変化を経験した地域があったことは理解しています。

少し気になるのは、その他の児童生徒数の急激な増え方です。その増加分が、そのまま全体の子どもの数の増加になっているので、その理由を考えて、次回報告しましょう。（松本）

在留邦人子女数										単位：人
地域	年度	小学部				中学部				小中学部 総計
		日本人学校	補習授業校	その他	合計	日本人学校	補習授業校	その他	合計	
北米	2009	353	8,972	6,582	15,907	116	2,533	2,937	5,586	21,493
	2010	293	8,933	7,694	16,920	109	2,332	3,561	6,002	22,922
	増減数	-60	-39	1,112	1013	-7	-201	624	416	1,429
	増減率	-1.7%	-0.4%	16.9%	6.4%	-6.0%	-7.9%	21.2%	7.4%	6.6%
	構成比	1.7%	52.8%	45.5%	100%	1.8%	38.8%	59.4%	100%	
世界	2009	14,451	13,190	18,401	46,042	4,241	3,492	7,713	15,446	61,488
	2010	14,089	13,210	22,236	49,535	4,046	3,291	10,446	17,783	67,318
	増減数				3,494				2,337	5,830
在留邦人子女：海外に長期滞在する在留邦人（永住者を除く）のうち 2010 年 4 月 15 日付で義務教育年齢にある子ども その他：現地校やインターナショナルスクール等のみの在籍者、私立在外教育施設の在籍者および不就学者 出典：外務省 海外在留邦人子女数統計（長期滞在者）(http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin_sj/index.html)										